

平成 27 年度 事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

1. 一般財団法人社会通信教育協会体制

1) 役員、事務局

名 誉 会 長 大森 厚 (平成 27 年 8 月 8 日没)
会 長 井出 久
専 務 理 事 鈴木 久善 (事務局長兼務)
理 事 清水都岐子・岩城 建雄・山内 一朗・堀口 一秀・
引野 隆志・香川 明夫
監 事 大日方郁夫
参 与 葛西 孝章・長谷川 至・荒井 彰
顧 問 山本 恒夫・石橋 桂一・品川 恵保
税務会計委嘱 木澤 進 (木澤進税理士事務所長)

2) 評議員

村岡敏郎、井上秀之、飯島聡也、長谷川至、中野 茂、葛西孝章 (以上 6 名)

2. 理事会・評議員会、例会の開催

1) 平成 27 年度 第 1 回理事会

日 程＝平成 27 年 5 月 27 日 (水)

場 所＝中央工学校生涯学習センター 会議室

議 題＝第 1 号議案 平成 26 年度事業報告(案)に関する件

第 2 号議案 平成 26 年度収支報告(案)に関する件

第 3 号議案 平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書(案)に関する件

第 4 号議案 評議員会召集に関する件

2) 平成 27 年度 第 1 回評議員会

日 程＝平成 27 年 6 月 17 日 (水)

場 所＝中央工学校生涯学習センター 会議室

議 題＝第 1 号議案 平成 26 年度事業報告に関する件

第 2 号議案 平成 26 年度収支報告に関する件

第 3 号議案 平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

3) 平成 27 年度 第 2 回理事会

日 程＝平成 28 年 3 月 9 日 (水)

場 所＝中央工学校生涯学習センター 会議室

議 題＝第 1 号議案 平成 28 年度事業計画に関する件

第 2 号議案 平成 28 年度収支予算に関する件

4) 月例理事会・例会

日 程＝平成 27 年 4 月 15 日、5 月 27 日、12 月 9 日、
平成 28 年 2 月 10 日、3 月 9 日

場 所＝中央工学校生涯学習センター 1 階 102 教室

＊12 月例会のみ（学）香川栄養学園女子栄養大学にて行われた。

5) 忘年会・新年会

忘年会 平成 27 年 12 月 9 日(水) 18:00～20:00 香川栄養学園「松柏軒」

新年会 平成 28 年 1 月 13 日(水) 18:00～19:30 東海大学校友会館

3. 平成 27 年度の加盟団体（平成 28 年 3 月 31 日現在）

秋田大学理工学部通信教育講座、日本英語検定協会、日本通信教育学園、国際文化カレッジ、日本書道教育学会、文化服装学院、日本マネジメントスクール、中央工学校生涯学習センター、女子栄養大学生涯学習センター、早稲田通信教育センター、日本経営協会、公開経営指導協会、清水とき・きものアカデミア、産業能率大学、日本経営教育センター、日本放送協会学園、日本習字教育財団

(以上 17 団体)

4. 文部科学大臣表彰式等の開催

1) 第 66 回文部科学大臣賞表彰式・祝賀会

日 時＝平成 27 年 4 月 23 日（木）

表彰式 13:00～13:45 祝賀会 14:30～16:00

会 場＝表彰式は文部科学省講堂、祝賀会は東海大学校友会館 35 階望星の間

表 彰＝受賞者数 42 名

式次第＝表彰状授与 文部科学省生涯学習政策局長 河村 潤子

(下村 博文 文部科学大臣 代理)

式 辞 文部科学省生涯学習政策局長 河村 潤子

祝 辞 社会通信教育協会会長 井出 久

謝 辞 受賞者代表 新藤 有紀（中央工学校生涯学習センター）

祝賀会

挨拶 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長 佐藤 安紀

挨拶 社会通信教育協会 清水 とき副会長・山内 一朗常務理事

祝辞と乾杯 筑波大学名誉教授・協会顧問 山本 恒夫

5. 文部科学省認定社会通信教育・総合案内の作成

内 容…佐藤 安紀（文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長）國分正明（社会教育団体振興協議会会長）山本恒夫（筑波大学名誉教授・元中央教育審

議会委員)井出 久(社会通信教育協会会長)の推薦文・加盟団体の講座紹介・文部科学大臣表彰制度、生涯学習インストラクター制度等の概要説明。
 体 裁…A4・4C・8P・両観音折・案内書請求ハガキ付き。78,000部作成。
 配布先…全国都道府県市町村教育委員会、生涯学習センター、図書館、公民館、法務省関係等。

6. 生涯学習インストラクターに関する事業

1) 生涯学習インストラクター登録者の現況(平成28年3月31日現在)

生涯学習インストラクター制度は、文部科学省の指導のもとに平成4年3月に発足した。本年度及び累計登録数は次の通りである。

級 位	平成27年度登録数	累計登録数
生涯学習2級インストラクター	247名	24,508名
生涯学習1級インストラクター	50名	5,723名
合 計	297名	30,231名

2) 生涯学習インストラクター・コーディネーター機関紙の発行

生涯学習インストラクター・コーディネーター機関紙を次の通り発行し、文部科学省・全国都道府県市町村教育委員会、生涯学習センター、主要公民館、主要図書館、法務省関係、生涯学習インストラクター、生涯学習コーディネーター等に配布。

・機関紙 第42号(平成27年8月1日発行) A4・8P・4,500部発行

内 容=角替 弘志(静岡大学・常葉学園大学名誉教授)、谷口 俊一(文部科学省生涯学習政策局社会教育課長)、石垣 朝子(沖縄県石垣市教育委員会教育長)、生涯学習インストラクター・コーディネーター短信 等

・機関紙 第43号(平成27年12月1日発行) A4・8P・4,500部発行

内 容=山本 恒夫(筑波大学名誉教授、社会通信教育協会顧問)、枝 慶(文部科学省生涯学習政策局男女参画学習課家庭教育支援室長)、小林 正彦(長野県須坂市教育委員会教育長)、生涯学習インストラクター・コーディネーター短信 等

3) 第14回生涯学習インストラクター・コーディネーター全国大会・懇親会の開催。

平成28年2月13日(土)、12:30~18:30。会場=国立オリンピック記念青少年総合センター。

[プログラム]

①.第11次「まなびの達人・あそびの達人」認証式

午前11:00~12:00、国際会議室において認証者113名の認証式を実施した。

(累計登録者数 2,089名)

挨拶=井出久会長、祝辞=文部科学省・岸本哲哉課長

②第14回生涯学習生涯学習インストラクター・コーディネーター全国大会

午後13:00~16:50 大会挨拶=井出久会長、挨拶=文部科学省有松育子生涯学

習政策局長、

- ・基調講演「成人の学習の理解と V 字型回復力・成長力(レジリエンス)」山本恒夫
- ・特別講演「健康寿命を延ばす時間栄養学」香川靖雄
- ・フォーラム「自分を高め、地域に活かす」

司 会 山本裕一(国立オリンピック記念青少年総合センター所長代理)

発表者 助川 隆(文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業室長)、
浅井経子(八洲学園大学教授)

小沼好宏(地域福祉スペース「CASA・ワイワイ」主宰)

③参加者数=文部科学省・関係者 42 名 参加者 141 名。合計 183 名

終了後、懇親会を開催し参加者の交流を図った。

4) 文部科学省生涯学習政策局の推進する事業について協力

「子どもの生活リズム向上プロジェクト・早寝早起き朝ごはん国民運動」、「放課後子どもプラン・放課後子ども教室推進事業」には、生涯学習インストラクターの会が全国各地で事業を推進し、多数の会員が講師やボランティアで参加した。

7. 「生涯学習コーディネーター研修」通信教育講座に関する事業

1) 文部科学省認定社会「生涯学習コーディネーター研修」通信教育受講生の募集を行った。

2) 「生涯学習コーディネーター 新支援技法 研修」通信教育受講生の募集を行った。

3) 第 1 回関東地区研修会の実施

①参加対象：文部科学省認定社会通信教育「生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター研修」修了者。スキルアップ研修会。

②日 時：11 月 30 日 13 時 30 分~16 時 30 分

③会 場：中央工学校 10 号館 3 階 会議室

④講 習 料：2,000 円

⑤講 師：山本 恒夫 先生

⑥講義内容：成人の学習の理解と V 字型回復力・成長力 (レジリエンス) について

8. 特別研修会の実施

実施日：平成 27 年 11 月 20 日(金) 10 時~16 時 30 分

場 所：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センター (つくば市)

会 費：5,000 円

参加者：板倉秀男・荒井彰 (通信学園)、佐々木浩二 (栄養大)、引野隆志 (NOMA)、村岡敏朗 (公開経営)、長谷川至・桜井康之 (経営教育)、上岡恵子 (NHK)、岩城建雄 (理事)、金沢澄雄 (元英検)、井出久 (会長)、鈴木久善 (事務局長)、葛西孝章 (日本習字・委員長) 以上 13 名

研修経過：10 時 循環バスにて「筑波宇宙センター」に向かい、10 時 10 分展示館・

スペースドームの見学。11時に「ガイド付き見学ツアー」により宇宙飛行士の適性検査などの見学、さらに宇宙服の説明などが行われた。最後に、宇宙ステーション「きぼう」を見守っている運用管制室を見学して終了。見学の後、昼食を摂りながら交流を深めたのちに散会した。

大森 厚名誉会長の急逝

当協会の名誉会長・大森 厚先生（学校法人中央工学校理事長）が、平成 27 年 8 月 8 日、現職のままで 83 歳の天寿を全うされました。

先生は、昭和 38 年 12 月に財団法人中央工学校通信教育会が当協会に加盟すると、昭和 39 年 3 月には監事、昭和 41 年 3 月常務理事、昭和 55 年 5 月に専務理事となり、昭和 63 年 5 月に第 3 代会長に就任、その後、平成 10 年 5 月まで約 10 年間会長を務められました。会長辞職後も名誉会長を引き受けていただき、協会行事や文部科学大臣賞の受賞式などで皆様と歓談できることを楽しみにしておられるとともに、最後まで、文部科学省認定社会通信教育と社会通信教育協会の発展に心血を注がれました。

平成 27 年 9 月 12 日、青山葬儀所にて中央工学校葬が執り行われ、ゆかりのあった約 1,300 名の方々が参列し、お別れを惜しましました。